

国際大会派遣選手選考基準

< 2012年度／平成24年度 >

平成24年1月1日改訂版

JPA技術委員会

国際大会派遣選手選考規程第2条第2項の規定に基づいて、以下のとおり定める。

(すべての選考に順位規定を追加)

1 国際大会の選考大会

・2012年度における国際大会の参加選手の選考大会となる全日本選手権大会は、次のとおりとする。

世界男子・女子パワーリフティング選手権大会	2012年度全日本男子・女子パワーリフティング選手権大会
世界マスターズパワーリフティング選手権大会	2012年度全日本マスターズパワーリフティング選手権大会
世界ジュニアパワーリフティング選手権大会	2012年度全日本サブジュニアパワーリフティング選手権大会
世界サブジュニアパワーリフティング選手権大会	2011年度全日本ジュニアパワーリフティング選手権大会（3月25日・埼玉）
世界クラシックパワーリフティング大会（ノーギア）	2011年度ジャパンオープンパワーリフティング選手権大会（一般）（2011年10月1～2日・神奈川）
アジアパワーリフティング選手権大会	2011年度全日本パワーリフティング選手権大会（一般、ジュニア、マスターズ、サブジュニア）
世界ベンチプレス選手権大会	2011年度全日本ベンチプレス選手権大会（2012年2月・茨城）
世界マスターズベンチプレス選手権大会	2011年度全日本マスターズベンチプレス選手権大会（2011年9月11日・石川）
世界ジュニア・サブジュニアベンチプレス選手権大会	2011年度全日本ベンチプレス選手権大会（20011年2月12～13日・高知）
アジアベンチプレス選手権大会	・2011年度全日本ベンチプレス選手権大会（一般、ジュニア、サブジュニア）（2012年2月・茨城） ・2011年度全日本マスターズベンチプレス選手権大会（マスターズ）（2011年9月11日・石川）

・上記以外の国際大会については、その都度、選考条件等を明確にして対応する。

2 国際大会参加標準記録

(1) 世界男子・女子

選考大会となる全日本男子・女子パワーリフティング選手権大会において **3位以内に入賞し**、かつトータルが一般の全日本大会参加標準記録の105%以上。

(2) 世界マスターズ

選考大会となる全日本マスターズパワーリフティング選手権大会において **4位以内に入賞し**、かつトータルが一般の全日本大会参加標準記録に対して、マスターⅠは90%以上、マスターⅡは85%以上、マスターⅢは80%以上。

(3) 世界ジュニア

選考大会となる全日本ジュニアパワーリフティング選手権大会において **3位以内に入賞し**、かつトータルが一般の全日本参加標準記録の90%以上。

※女子43kg級は215kg、男子53kg級は412.5kgを参加標準記録とする。

(4) 世界サブジュニア

選考大会となる全日本サブジュニアパワーリフティング選手権大会において、トータルが一般の全日本参加標準記録の75%以上 (**順位は問わない**)。

※女子43kg級は180kg、男子53kg級は345kgを参加標準記録とする。

※高校連盟との申し合わせにより、選手枠に空きがある場合は、そのクラスの準優勝者で国際大会参加標準記録を達成した競技者の中から、フォーミュラの高い順に選考する。ただし、辞退者がいても繰り上げない。

(5) 世界クラシックパワー

選考大会となるジャパンオープンパワーリフティング選手権大会において **3位以内に入賞し**、かつトータルがノーギア一般の全日本大会参加標準記録の105%以上。

(6) アジア (シニア・マスターズ・ジュニア・サブジュニア)

・各選考大会において **5位以内に入賞していること (サブジュニアは順位問わず)**。

・一般 (シニア) については、選考大会となる全日本男子・女子パワーリフティング選手権大会において、トータルが一般の全日本参加標準記録の100%以上。

・マスター、ジュニア、サブジュニアの選手については、選考大会となる全日本マスターズ、ジュニア、サブジュニア選手権大会において、トータルが一般の全日本参加標準記録に対して、ジュニア・マスターⅠは85%、マスターⅡは80%、サブジュニア・マスターⅢは70%以上。

※ジュニア女子43kg級は202.5kg、男子53kg級は390kgを参加標準記録とする。

※サブジュニア女子43kg級は167.5kg、男子53kg級は320kgを参加標準記録とする。

(7) 世界ベンチプレス

選考大会となる全日本ベンチプレス選手権大会において **3位以内に入賞し**、かつ記録が一般の全日本ベンチプレス参加標準記録の125%以上。

(8) 世界マスターズベンチプレス

選考大会となる全日本マスターズベンチプレス選手権大会において **4位以内に入賞し**、かつ記録が一般の全日本ベンチプレス参加標準記録に対して、マスターⅠは100%、マスターⅡは90%、マスターⅢは80%以上。

(9) 世界ジュニア・サブジュニアベンチプレス

・ジュニアについては、選考大会となる全日本ジュニアベンチプレス選手権大会において **3位以内に入賞し**、かつ記録が一般の全日本ベンチプレス参加標準記録の100%以上。

・サブジュニアについては、選考大会となる全日本サブジュニアベンチプレス選手権大会において、記録が一般の全日本ベンチプレス参加標準記録の80%以上 (**順位は問わない**)。

※ジュニア女子43kg級は55kg、男子53kg級は120kgを参加標準記録とする。

※サブジュニア女子43kg級は42.5kg、男子53kg級は95kgを参加標準記録とする。

(10) アジアベンチプレス

・各選考大会において **5位以内に入賞していること (サブジュニアは順位問わず)**。

・一般 (シニア) については、選考大会となる全日本ベンチプレス選手権大会において、記録が一般の全日本ベンチプレス参加標準記録の100%以上。

・マスター、ジュニア、サブジュニアの選手については、選考大会となる全日本マスターズ、ジュニア、サブジュニアベンチプレス選手権大会において、記録が一般の全日本ベンチプレス参加標準記録の、ジュニア・マスターⅠは85%、マスターⅡは80%、サブジュニア・マスターⅢは70%以上。

※ジュニア女子43kg級は45kg、男子53kg級は100kgを参加標準記録とする。

※サブジュニア女子43kg級は37.5kg、男子53kg級は82.5kgを参加標準記録とする。

3 選考方法 (国際大会派遣選手選考規程第3条、第6条及び第8条に準拠する)

・上記「1」に示す国際大会の選考大会にて、各国際大会の参加標準記録を突破した選手に、国際大会参加権利が与えられる (優勝しても上記参加標準記録を突破していなければ選考対象にならない)。

・選手選考では、原則として各階級1名を選考する。但し、空き枠の発生により同階級内2名までの選考を認めることがある。

・選考の時点では、いかなる場合も選考会出場階級以外での国際大会参加権利は与えられないものとする (選手団結成後において、階級変更が生じる場合、各国際大会選手団長の判断に委任する。但し、同じクラスに3名の選手が出場を希望した場合、そのクラスの優勝者が最優先となり、あとはフォー

ミュラの高い方が優先となる)。

・選考の優先順位は次の通りである。

- ① そのクラスの優勝者で上記国際大会の参加標準記録を突破している者。
- ② 上記①の該当者が辞退した場合、辞退者と同階級の2位の選手で上記国際大会の参加標準記録を突破している者。
- ③ この時点で空き枠が発生する場合、②に該当しない各階級2位の選手で上記国際大会の参加標準記録を突破している者の中から、フォーミュラの高い順に選考する。
- ④ この時点で空き枠が発生する場合、②及び③の選考方法に準じ3位、またはそれ以下に繰り下げて選考する。

4 選手選考における付加条件

- ・カレンダーイヤーで、国際大会の出場時点ではマスター各カテゴリーであるが、選考大会の開催時点では、そのカテゴリーに達していない競技者の場合、選考大会時は適正カレンダーイヤーのカテゴリーで出場し、国際大会出場予定時の該当カテゴリーでの選考対象に加える。
- ・優勝者のカテゴリーが変わり、空き枠が発生した場合、2位以下をそれぞれ繰り上げて選考する。
- ・全日本大会のマスターⅣに出場した選手については、マスターⅢの選考対象に加える。
- ・女子マスターⅢに出場した選手については、マスターⅡの選考対象に加える。

例1：選考大会出場時はカレンダーイヤー39歳だが、国際大会出場時は40歳になる場合。

⇒選考大会となる全日本マスターズ選手権大会はオープンで参加し、マスターⅠの優勝者と記録を比べ、上回った方が優先権を得る。

例2：選考大会出場時はカレンダーイヤー49歳だが、国際大会出場時は50歳になる場合。

⇒選考大会となる全日本マスターズ選手権大会はマスターⅠで参加し、マスターⅡの優勝者と記録を比べ、上回った方が優先権を得る。

5 その他

- ・技術委員会及び国際委員会は、選手団の編成や国際大会選手派遣に関する業務に支障を来す言動を取る競技者がいる場合、当該競技者を選考対象及び選手団の編成から外することができる。

以上